

○ 土地改良事業等請負工事標準歩掛（昭和 58 年 2 月 28 日 58 構改 D 第 148 号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表

(下線部は改正部分)

改正後	現行																
4. 基礎工 ① [略] ② 既製杭の杭頭処理工 1. ～ 2. [略] 3. 単価表 (1) [略] (2) 機械運転単価表 <table><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>適用単価表</th><th>指 定 事 項</th></tr><tr><td>電 気 溶 接 機</td><td><u>ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式・排出ガス対策型（第3次基準値）最大溶接電流300 A</u></td><td>機－ 1 2</td><td>燃料消費量→<u>24</u></td></tr></table> ③～⑥ [略] [削る。] ⑦～⑨ [略]	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	電 気 溶 接 機	<u>ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式・排出ガス対策型（第3次基準値）最大溶接電流300 A</u>	機－ 1 2	燃料消費量→ <u>24</u>	4. 基礎工 ① [略] ② 既製杭の杭頭処理工 1. ～ 2. [略] 3. 単価表 (1) [略] (2) 機械運転単価表 <table><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>適用単価表</th><th>指 定 事 項</th></tr><tr><td>電 気 溶 接 機</td><td><u>直流アーク式 排出ガス対策型 （第1次基準値） ディーゼルエンジン付300 A</u></td><td>機－ 1 2</td><td>燃料消費量→<u>27</u></td></tr></table> ③～⑥ [略] ⑦ 場所打杭工（アースオーガ工・硬質地盤アースオーガ） [略] ⑧～⑩ [略]	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	電 気 溶 接 機	<u>直流アーク式 排出ガス対策型 （第1次基準値） ディーゼルエンジン付300 A</u>	機－ 1 2	燃料消費量→ <u>27</u>
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項														
電 気 溶 接 機	<u>ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式・排出ガス対策型（第3次基準値）最大溶接電流300 A</u>	機－ 1 2	燃料消費量→ <u>24</u>														
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項														
電 気 溶 接 機	<u>直流アーク式 排出ガス対策型 （第1次基準値） ディーゼルエンジン付300 A</u>	機－ 1 2	燃料消費量→ <u>27</u>														

○ 土地改良事業等請負工事標準歩掛（昭和 58 年 2 月 28 日 58 構改 D 第 148 号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表

（下線部は改正部分）

改 正 後	現 行
8. 道 路 工 ①～③ 〔略〕 ④ P C橋架設工 1. ～ 3. 〔略〕 4. 横組工 〔略〕 4－1 〔略〕 4－2 コンクリート工 〔略〕 4－2－1・4－2－2 〔略〕 4－2－3 コンクリート工歩掛 〔略〕 表 4. 4 コンクリート工歩掛 (10m³当り) 〔略〕 (注) 1. ～ 7. 〔略〕 8. 型枠は、プレテンション T 桁及びポストテンション桁については一般型枠、プレテンション床版桁については埋設型枠を標準とする。 4－2－4 〔略〕 4－3・4－4 〔略〕 4－5 足場工、防護工及び登り栈橋工 4－5－1 〔略〕 4－5－2 防護工 (1) 〔略〕 (2) ワイヤブリッジ防護工 主桁を架設桁を用いて架設する場合に、転落防止及び落下物防止の目的で設置する。 (ワイヤブリッジ転用足場としない場合) ワイヤブリッジ防護工事費＝ {229+59 T₁₀+0.05 y (設置)+0.021 y (撤去) } × A (円) T₁₀：防護工(ワイヤブリッジ)供用月数 (月) y：橋りょう特殊工単価 (円／人) A：橋面積 (m²) A=W×L (m²) W：全幅員(地覆外縁間距離) (m) L：橋長 (m)	8. 道 路 工 ①～③ 〔略〕 ④ P C橋架設工 1. ～ 3. 〔略〕 4. 横組工 〔略〕 4－1 〔略〕 4－2 コンクリート工 〔略〕 4－2－1・4－2－2 〔略〕 4－2－3 コンクリート工歩掛 〔略〕 表 4. 4 コンクリート工歩掛 (10m³当り) 〔略〕 (注) 1. ～ 7. 〔略〕 〔新設〕 4－2－4 〔略〕 4－3・4－4 〔略〕 4－5 足場工、防護工及び登り栈橋工 4－5－1 〔略〕 4－5－2 防護工 (1) 〔略〕 (2) ワイヤブリッジ防護工 主桁を架設桁を用いて架設する場合に、転落防止及び落下物防止の目的で設置する。 (ワイヤブリッジ転用足場としない場合) ワイヤブリッジ防護工事費＝ {229+59 T₁₀+0.045 y (設置)+0.019 y (撤去) } × A (円) T₁₀：防護工(ワイヤブリッジ)供用月数 (月) y：橋りょう特殊工単価 (円／人) A：橋面積 (m²) A=W×L (m²) W：全幅員(地覆外縁間距離) (m) L：橋長 (m)

(3) 〔略〕 4－5－3 登り栈橋工 (1) 〔略〕 (2) 登り栈橋工費（手すり先行工法） 登り栈橋の施工において「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省）」を適用する場合の設置・撤去にかかる歩掛は、次式による。 登り栈橋工費（円）＝{5,116+2,917T₁₁+<u>0.474</u>y（設置）+<u>0.341</u>y（撤去）}×H T₁₁：登り栈橋を供用している月数（月） y：橋りょう特殊工単価（円／人） H：登り栈橋の高さ（m） （注）手すり先行型枠組足場は二段手すり及び幅木の機能を有している。 4－6 〔略〕 5.・6. 〔略〕 ⑤～⑦ 〔略〕	(3) 〔略〕 4－5－3 登り栈橋工 (1) 〔略〕 (2) 登り栈橋工費（手すり先行工法） 登り栈橋の施工において「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省）」を適用する場合の設置・撤去にかかる歩掛は、次式による。 登り栈橋工費（円）＝{5,116+2,917T₁₁+<u>0.427</u>y（設置）+<u>0.307</u>y（撤去）}×H T₁₁：登り栈橋を供用している月数（月） y：橋りょう特殊工単価（円／人） H：登り栈橋の高さ（m） （注）手すり先行型枠組足場は二段手すり及び幅木の機能を有している。 4－6 〔略〕 5.・6. 〔略〕 ⑤～⑦ 〔略〕
---	---

○ 土地改良事業等請負工事標準歩掛（昭和 58 年 2 月 28 日 58 構改 D 第 148 号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表

(下線部は改正部分)

改 正 後	現 行																
15. 仮 設 工 ① ～⑩ 〔略〕 ⑪ 油圧圧入引抜工（硬質地盤） 1. ～2. 〔略〕 3. 機種の選定 3-1 油圧式杭圧入引抜機 〔略〕 <table><tr><th colspan="2">表 3. 1 機種選定</th></tr><tr><th>最大N値</th><th>$50 < N_{\max} \leq 180$ $180 < N_{\max} \leq 600$</th></tr><tr><td rowspan="3">鋼矢板 型 式</td><td>Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ型 エンジン式ユニット（硬質地盤専用） 排出ガス対策型（第3次基準値） 普通鋼矢板用 圧入力 800kN、引拔力 900kN</td></tr><tr><td>Ⅴ_L、Ⅵ_L、Ⅱ_w、Ⅲ_w、Ⅳ_w型 エンジン式ユニット（硬質地盤専用） 排出ガス対策型（第3次基準値） 広幅鋼矢板用 圧入力 800kN、引拔力 1,000kN</td></tr><tr><td><u>10H、25H型</u> <u>エンジン式ユニット（硬質地盤専用）</u> <u>排出ガス対策型（2014年規制）</u> <u>ハット形鋼矢板用900mm用</u> <u>圧入力 800kN、引拔力 900kN</u></td></tr></table> 3-2 〔略〕 4. ～8. 〔略〕 ⑪ 〔略〕	表 3. 1 機種選定		最大N値	$50 < N_{\max} \leq 180$ $180 < N_{\max} \leq 600$	鋼矢板 型 式	Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ型 エンジン式ユニット（硬質地盤専用） 排出ガス対策型（第3次基準値） 普通鋼矢板用 圧入力 800kN、引拔力 900kN	Ⅴ _L 、Ⅵ _L 、Ⅱ _w 、Ⅲ _w 、Ⅳ _w 型 エンジン式ユニット（硬質地盤専用） 排出ガス対策型（第3次基準値） 広幅鋼矢板用 圧入力 800kN、引拔力 1,000kN	<u>10H、25H型</u> <u>エンジン式ユニット（硬質地盤専用）</u> <u>排出ガス対策型（2014年規制）</u> <u>ハット形鋼矢板用900mm用</u> <u>圧入力 800kN、引拔力 900kN</u>	15. 仮 設 工 ① ～⑩ 〔略〕 ⑪ 油圧圧入引抜工（硬質地盤） 1. ～2. 〔略〕 3. 機種の選定 3-1 油圧式杭圧入引抜機 〔略〕 <table><tr><th colspan="2">表 3. 1 機種選定</th></tr><tr><th>最大N値</th><th>$50 < N_{\max} \leq 600$ [新設]</th></tr><tr><td rowspan="3">鋼矢板 型 式</td><td>Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ型 エンジン式ユニット（硬質地盤専用） 排出ガス対策型（第3次基準値） 普通鋼矢板用 圧入力 800kN、引拔力 900kN [新設]</td></tr><tr><td>Ⅴ_L、Ⅵ_L、Ⅱ_w、Ⅲ_w、Ⅳ_w型 エンジン式ユニット（硬質地盤専用） 排出ガス対策型（第3次基準値） 広幅鋼矢板用 圧入力 800kN、引拔力 1,000kN [新設]</td></tr><tr><td>[新設] [新設] [新設]</td></tr></table> 3-2 〔略〕 4. ～8. 〔略〕 ⑪ 〔略〕	表 3. 1 機種選定		最大N値	$50 < N_{\max} \leq 600$ [新設]	鋼矢板 型 式	Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ型 エンジン式ユニット（硬質地盤専用） 排出ガス対策型（第3次基準値） 普通鋼矢板用 圧入力 800kN、引拔力 900kN [新設]	Ⅴ _L 、Ⅵ _L 、Ⅱ _w 、Ⅲ _w 、Ⅳ _w 型 エンジン式ユニット（硬質地盤専用） 排出ガス対策型（第3次基準値） 広幅鋼矢板用 圧入力 800kN、引拔力 1,000kN [新設]	[新設] [新設] [新設]
表 3. 1 機種選定																	
最大N値	$50 < N_{\max} \leq 180$ $180 < N_{\max} \leq 600$																
鋼矢板 型 式	Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ型 エンジン式ユニット（硬質地盤専用） 排出ガス対策型（第3次基準値） 普通鋼矢板用 圧入力 800kN、引拔力 900kN																
	Ⅴ _L 、Ⅵ _L 、Ⅱ _w 、Ⅲ _w 、Ⅳ _w 型 エンジン式ユニット（硬質地盤専用） 排出ガス対策型（第3次基準値） 広幅鋼矢板用 圧入力 800kN、引拔力 1,000kN																
	<u>10H、25H型</u> <u>エンジン式ユニット（硬質地盤専用）</u> <u>排出ガス対策型（2014年規制）</u> <u>ハット形鋼矢板用900mm用</u> <u>圧入力 800kN、引拔力 900kN</u>																
表 3. 1 機種選定																	
最大N値	$50 < N_{\max} \leq 600$ [新設]																
鋼矢板 型 式	Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ型 エンジン式ユニット（硬質地盤専用） 排出ガス対策型（第3次基準値） 普通鋼矢板用 圧入力 800kN、引拔力 900kN [新設]																
	Ⅴ _L 、Ⅵ _L 、Ⅱ _w 、Ⅲ _w 、Ⅳ _w 型 エンジン式ユニット（硬質地盤専用） 排出ガス対策型（第3次基準値） 広幅鋼矢板用 圧入力 800kN、引拔力 1,000kN [新設]																
	[新設] [新設] [新設]																